６月５日（水）　朝礼のお話

いじめはね、削除できない履歴だよ

さて、６月は年に３回の「ふれあい月間」です。ふれあい月間では自分たちの生活を振り返り、一人一人が「自分は周りの人たちに思いやりをもって、やさしく接しているかな？」と考えてみたり、「いじめに苦しんでいる人はいないかな？」と確かめることをします。教室ではアンケートをしたり、いじめについて学習したりしましたね。

そこで、今日はみなさんに一つの言葉を紹介したいと思います。これはある年のいじめ防止標語コンクールで優秀賞に選ばれたものの一つです。それはこんな言葉です。

「いじめはね、削除できない履歴だよ」です。

高学年の人には意味がわかると思いますが、ちょっと難しい言葉も使われているのでやさしい言葉で言い換えてみるとこういうことです。

「いじめをされたことも、いじめをしたことも、ずっと消せずに残ってしまうものなんだよ。」と言うことです。

いじめられたことがいつまでも苦しい、悲しい思いでとして心に残ってしまうことは簡単に想像できると思います。校長先生も小学生の時にあることでいじめられていたことがあります。もう５０年以上前のことですが、今でもはっきりと覚えています。その時にされたこと、言われたこと、それを言った人の名前、顔、みんな覚えています。いやな思い出ですから、忘れてしまった方が良いのですが、残念なことに忘れることができません。これはなかなかつらいことです。

では誰かをいじめた思い出はどうでしょう？よく、「いじめられたことは覚えているけど、いじめたことは忘れてしまう。」なんて言われます。でも本当にそうでしょうか？いじめた人が忘れてしまったとしても、その人が誰かをいじめたと言うことまで消してしまうことはできません。それはいつまでも残りますし、時にはその責任をとらなければならないことにもなります。一度やってしまったことを無かったことにすることはできないのです。

いじめられること、いじめることどちらにしてもずっとずっと消せない思い出として残ってしまうなんて、これはとても悲しいことです。いじめは、鉛筆で書いたことのように、まずいと思ったら削除してしまえるようなものではないのです。だから、あなたにはいじめられる人にもいじめる人にもなってほしくないのです。

このけやき小ではいじめは絶対にダメです。どんな理由をつけてもダメです。ダメなものはダメです。あなたの心に削除できないものを残さないためにもみんなで考えていきましょう。

今日は「いじめはね、削除できない履歴だよ」と言う言葉を紹介しました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。お話を終わります。